

町自連まつえ

平成22年1月1日 発行 第13号

■発行／松江市町内会・自治会連合会（略称：町自連まつえ）

ごあいさつ

松江市町内会・自治会連合会

会長 原 英昭



松江市の町内会、自治会の会員の皆様、新年おめでとうございます。

昨年は松江開府四〇〇年祭期間の中年頭に当たり皆様のご多幸とご健康、そして一層のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

間の年でありいみじくも「ホーランエンヤ船神事」の年でもあり諸行事担当の地区の皆様にはご苦労様でございました。

さて、私こと、昨年、これまで六年間にわたって当松江市町内会・自治会連合会の会長職を勤められました門脇光男様のご勇退の後を承りました。当連合会は先輩諸氏のたゆまぬ努力により輝かしい歴史を積み上げて参りました。未熟者の身ではありますが皆様のご理解とご支援をいただきながら当会の運営と更なる発展のため微力ながら最善を尽くす所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご承知のように松江市町内会・自治会連合会は松江市市民部市民生活相談課市民活動推進係に当連合会事務局を設置していただきなど、当局の深いご理解と力強いご支援を賜りながら協働の理念のもと二十八地区自治会連合会

松江市長挨拶



松浦正敬

新春を迎え、

市民の皆様には

ますますご健勝

のこととお慶び

申し上げます。

平素から各町内会・自治会の皆様には、市政の円滑な運営にご協力をいただき、誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

さて、昨年より新型インフルエンザが猛威を振るい、皆様方の生活にも大きな影響を及ぼしております。正確な情報による迅速な対応に努め、一日も早い収束を願い、「元気と夢があふれる松江づくり」を皆様方と手を取り合って進めてまいりたいと思います。

昨年、本市は明治二十二年の市制施行より一二〇周年という記念すべき節

の会長による連合会を組織し、八〇六単位自治会とともに住民主体の地域課題の取り組みや地域活動を行つております。また公民館とはいわゆる「松江方式」により「車の両輪」と例えられるようほんどの地区では地区連合会の事務局を公民館に持つていただき地域活動の拠点としてご協力を賜っております。

私たちの活動の目的は、親睦や互助はもとより「住み良いまちづくり、地域活動の拠点としてご協力を賜っております。

域づくり」です。さらに付け加えるなら「防犯」「防災」「環境」「福祉」そして「文化」に対してもということになります。関係する各種団体の皆様と連携をとり努力を重ねております。

このためには自治会加入率が一〇〇パーセントでなければなりません。加入促進にもお力添えをお願い申し上げます。

目を迎えました。その歩みを振り返り、「水と緑・歴史と教育を大切にし、伸びゆく国際文化観光都市松江」を将来の都市像として描きながら、定住人口二十万人を目指し、将来に飛躍と明るい展望をもたらす事業を推進してまいります。

そのひとつとして、松江城の国宝化に向けた運動があります。本市の長年の念願である松江城の国宝化を、「松江開府四〇〇年祭」の期間中に叶えるよう、市民の皆様と協働して取り組みを進めてまいりたいと思います。そして、改めて市民の皆様に松江の素晴らしさを誇りに思つていただくとともに、是非とも国内外からたくさんの観光客の方に松江を訪れていただき、活力のあるまちづくりに繋げていきたい

と思います。

また、このたび市民生活相談課に「伺います係」を設置いたしました。この係は、市民の皆様のご要望等に対し

「まちのお助け隊」が現場に駆けつけ、問題の早期解決に機動力を發揮して対応するものです。皆様の生活に密着した目に見える市政の実現のため、どうかお気軽にご相談していただければと思います。

最後になりましたが、今後も市民の皆様と手を携えて、松江市を元気あふれるまちへと発展させていきたいと考えていますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

今年も様々な課題に

取り組んでまいりますので
よろしくお願いいたします。



副会長 小山 榮
(川津地区)



副会長 小草 通男
(持田地区)



会長 原 英昭
(法吉地区)



常任理事
米田 喜雄
(大庭地区)



常任理事
石倉 初
(八雲地区)



常任理事
石原 正
(白瀬地区)



常任理事
恩田 祥雄
(忌部地区)



常任理事
松尾 知樹
(生馬地区)



副会長 佐々木武男
(雜賀地区)



副会長 井上 穂
(鹿島地区)



理事
目次 理雄
(乃木地区)



理事
中島 勇夫
(本庄地区)



理事
大野 美雄
(城北地区)



理事
三島 健治
(城西地区)



理事
田中美知夫
(秋鹿地区)



監事 田尻 賢爾
(古江地区)



監事 中林 富夫
(城東地区)



理事 高井 昇
(島根地区)



理事 後藤 眺一
(竹矢地区)



理事 石倉 國男
(津田地区)



理事 熊谷 和恭
(古志原地区)



理事 山野 健
(大野地区)



理事 川西 俊雄
(朝日地区)



理事 門脇 延雄
(八束地区)



活動紹介

三団体の合同研修会について

小山 榮・恩田祥雄・石原 正
第一回松江市社会福祉協議会会长
会、松江市公民館長会、松江市町内会。

理事 野津 収三
(朝酌地区)

理事 糸川 孝雄
(宍道地区)

理事 森脇 康昭
(美保関地区)

理事 勝部 廣三
(玉湯地区)

自治会連合会の合同研修会を開催しましたので市民の皆様に紹介したいと思います。

以前は、公民館長会と町内会・自治会連合会の二団体で開催しておりましたが、平成十七年三月三十一日に松江市と七町村との合併により市内二十八地区となり、大合併後三年目を迎えた、平成二十年に第一回の三団体合同研修会を開催し、今回は第二回目として三

研修視察をおえて

佐々木武男・田尻賢爾

十一月十一日、薄明かりの中二十七名の参加者を乗せたバスは豪雨の旅路についた。高速道路を乗り継ぎ、日田ICよりダム問題の原点になつた「下筌ダム」沿いの悪路を走り続けて十五時前に黒川温泉に到着、早速旅館組合を訪ね、代理理事遠藤敬悟氏のお話を伺つた。

開会式のあと、副市長中村光男氏より「地域実態の再検証と個性を活かした地域づくり」についてご講演をいた

ことが、有事の際のスムーズな支援活動や活力ある地域づくりにつながることを改めて実感し、地域の交流拠点としての自治会活動の大切さを再認識いたしました。

普段から地域活動に参加をしたり、地域で声を掛け合うなどの交流を図ることで、声を掛け合うなどの交流を図ることが、有事の際のスムーズな支援活動や活力ある地域づくりにつながることを改めて実感し、地域の交流拠点としての自治会活動の大切さを再認識いたしました。



黒川温泉 まちづくりの勉強会

と「くつろぎ」を求めたいというニーズ、自然の中で解放されたいという欲求があることを見抜き、一人露天風呂を作ろうと決意し、山肌に向かい、洞窟風呂を三年で完成させた。もう一つは、樹を植えたこと。作り込んだ日本庭園でなく、野の山を再現しようとした。この旅館の盛況がやがて幾多の変遷を経て「共生」を理念とした「湯めぐり」の発想が生まれ、「個々の旅館の看板撤去」「入湯手形」「なら、くぬ

だきました。地域別の人口や高齢化率など各種データを基に、地域活動の重要性などについて、約四十五分間にわたりこと細かくお話をいただきました。その後、「地域で見守り、助け合い事業」「災害に打ち勝つ防災力」「災害時要援護者の支援」「災害時の対応」「災害時の避難」について、坂本茂利防災安全課長、井田克己保健福祉課長から市の方針説明をいただき、その後お互いの活発に意見交換を交わし、有意義のうちに合同研修を終了しました。

普段から地域活動に参加をしたり、地域で声を掛け合うなどの交流を図ることが、有事の際のスムーズな支援活動や活力ある地域づくりにつながることを改めて実感し、地域の交流拠点としての自治会活動の大切さを再認識いたしました。

普段から地域活動に参加をしたり、地域で声を掛け合うなどの交流を図ることが、有事の際のスムーズな支援活動や活力ある地域づくりにつながることを改めて実感し、地域の交流拠点としての自治会活動の大切さを再認識いたしました。



「昭和の町」散策

平成二十一年度 全国自治会連合会 全国大会に参加して

井上 穂・米田喜雄・中林富夫

鳥取自動車道の鳥取県側開通を記念し、標記大会が平成二十一年十一月五日鳥取市において開催され、松江市町内会・自治会連合会から三名参加しました。

開会式での挨拶で、全国自治会連合会・兼松会長から平素の自治会活動の労を労うと共に、高齢化の伸展とともに植栽で自然景観を整え、岩風呂、露天風呂を配し田舎情緒、癒しの空間を醸し出し共感を呼んでいる。「お客様の時間を加工してお客様に返す」の言葉は印象深かったです。

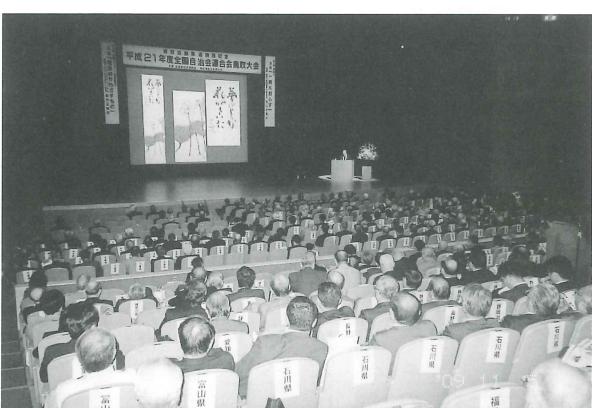
対称的な地域として選んだ九重の「夢の大吊橋」、豊後高田の「昭和の町」は、それぞれの特色と問題点もあったが示唆に富んでいた。

今年の研修視察は、従来行っていた各自治体の連合会等との交流会を取りやめ、先進地の現地の取り組みを、一人ひとりが五感で受け止めることを狙った。「まちづくり」は、発想がその成否を左右すると思われ、この視察を通じて体感されたことが、各地区のまちづくりに生かされることを願っています。

開会式での挨拶で、全国自治会連合会・兼松会長から平素の自治会活動の労を労うと共に、高齢化の伸展とともに植栽で自然景観を整え、岩風呂、露天風呂を配し田舎情緒、癒しの空間を醸し出し共感を呼んでいる。「お客様の時間を加工してお客様に返す」の言葉は印象深かったです。

者対策や、地域の安心安全の為のネットワークやコミュニティづくりの推進等、町内会・自治会がそれぞれ地域活動を開催し、成果を挙げることで評価をされるようになつた。

また、総務省では、町内会・自治会や福祉分野など公共的な活動を行っている民間団体が連携し、「地域共同体」の創設を促すため、来年度から全国で実証事業を始める方針であると聞いています。このような流れの中で、これからも町内会・自治会は大きな役割の一つに地域の諸団体の掌握機能を發揮して地域力の強化に努めなければならぬ。その為には役員の研修等と共に新進気鋭の人材と女性役員の登用を促進し、組織のさらなる活性化を図ることが肝要である。



以上のような兼松会長の挨拶の後、書家であり寺の住職を務める傍ら、鳥取市教育委員会委員長の「一隅を照らす」と題しての講演の後、鳥取市内の住宅団地での「協働のまちづくり」の実践報告では、約二十年前に造成した新興住宅街での活動状況についての報告がされた。この住宅街は住宅専用地として高度に整備されており、一、四〇〇余の世帯数と人口四、〇〇〇人、九町内会で比較的若い世代で構成される歴史が浅く、住民同士の結びつきが希薄であり、したがって、住民のニーズが把握されていない等の課題が山積するなかで、試行錯誤の末二〇〇八年に「まちづくり協議会」を発足し、行政の理解のもとで多目的広場を核とした

明けましておめでとうございます。
昨年は、本格的な政権交代があり、社会の仕組み等も大きく変わろうとしています。

そうした中、私達松江市町内会・自治会連合会は、住民の幸せのために行政との協働のまちづくりを目指しており、毎月定例的に「まちづくりにかかる連絡調整会議」を開催しています。

会議では、市からの協議事項や情報の伝達、またそれぞれの地域課題の解決のために市政への要望等を行っています。各地域の要望事項等を市政へ届ける活動はとても重要な取り組みであると考えております。今後も松江市町内会・自治会連合会に対しご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いします。

（編集委員）
（松江市市民生活相談課内）

井上 穂・松尾 知樹・石倉 初